

浜嶋です。

私の理想とする隊集会のイメージは、原隊の指導者とかなりギャップがあります。私の考えていることが正しいかという判断は難しいですが、こんな考えもあるかと参考にしてもらえたらうれしいです。

先日のビーバー隊の開会儀礼では、団委員長の挨拶で「一年間の成長」について話しました。団委員長の挨拶は、参加しているスカウト、保護者、指導者が全員聞いています。毎回行いますので、大きな活動の流れを意識しながら、スカウトの成長に役立てばと思って、事前に何を話そうかと考えて参加します。

隊長挨拶が私の前にあるので、内容が被らないように留意しています。どちらもプログラムと関係なく、スカウトに何を伝えたいかを話します。

この時期はそろそろ上進が近づいてきて、スカウトがどれだけ成長したのかなと考えてみました。

「Good morning! (Good morning!) 去年の4月から自分のことで何が変わったのだろうか。身長は伸びたよね。体重も増えたよね。これは目に見えるから成長の様子がわかります。では、ボーイスカウトでは、何が変わったかな。一年経つと、ビッグビーバーはカブ隊に上進するし、ビーバーはビッグビーバーになります。いままでで、ビーバー隊のきまりはできるようになりましたか？」

今日の始まりを見ていたら、誰もリーダーに進んで挨拶をしていませんでした。リーダーから声をかけられてから挨拶をしていました。それに、あまり元気がありませんでした。自分から挨拶ができるようになるのも成長です。あと1ヶ月ありますから、できるようにしましょうね。わかりましたか？ 返事がないね。元気がないね。自分のことを自分で考えることも成長です。目標をもって頑張ってください」という内容です。

今回気が付いたことをいくつか紹介しましょう。2年前から始めた英語の挨拶が気になりました。これまで、私は、「グッモーニン！」の英語を話すために、一人ひとりに話しかけていました。最近は、表に出ないように様子を伺うことにしています。今日は、様子を観察していると、スカウトが自分から挨拶ができていないことがわかりました。私自身も含めて、リーダーは、スカウトや保護者の動きを定期的に観察して成果を確認するといった思いました。

団委員長が参加する目的の一つは、保護者とのコミュニケーションです。今回は、お母さんの代わりに初めて参加したお父さんがいました。そこで、自己紹介をして、少し情報を伝

え、様子もお聞きしました。他に話しかけるリーダーも保護者もいません。途中でも話しかけて、独りぼっちにならないように気を配りました。食事のときはお母さん方に交じって話をしていました。

今日の隊長挨拶は、プログラム説明だけで、教育的な話題は話されませんでした。閉会儀礼で少し話したのかなという程度でした。団委員長挨拶があったので、初めて参加した保護者に、教育活動の一端を知ってもらえてよかったと思いました。

手抜きをすると本来の活動の良さを伝えることができるチャンスを失います。ボーイスカウト活動は教育活動であることを、指導者は熟知し、活動に組み込む努力と成果を上げないといけません。どんなプログラムでも教育的な要素があります。

隊プログラムでしっかりできていたことは安全対策です。料理プログラムでは、包丁の扱い方、安全な切り方を指導していました。「はい、キャベツを切って」だけでなく、しっかり刃物の使用方法を注意することが大切です。今回は、それにもかかわらず、人差し指を切ってしまったスカウトがいました。大した傷ではありません。注意した上でのことですから、しかたがないですね。後で、スカウトの保護者からお礼のメールが届き、救急ボックスでしっかりと治療をしてもらったことに対して、「そなえよつねにだ！カッコいい！」とスカウトがリーダーに憧れを持ったそうです。「ああ、活動の準備に教育的な成果があったな」とその言葉をうれしく思いました。

後で、隊から団委員会に事故報告書を提出してもらい、反省と今後の再発防止策を考えてもらいました。

閉会儀礼の団委員長挨拶では、とてもいいことを話ができることになりました。

昼食後の歌の練習です。私は、以前から大きな声で歌えるようになるといいなあと思い続けていました。やはり、声は小さいです。ところが、連盟歌の練習で「団委員長、今の声は大きかったですか？」と聞かれたので、「小さい」と答えました。また、歌ってから聞かれます。毎回、「聞こえない」と返事しました。やがて、これは大きいだろうと思えるような声が出ました。誰もが合格だと思ったと思います。でも、私は満足しませんでした。「最初しか聞こえない」と期待を裏切る返事しました。「えー！」と言われましたが、もう一度頑張り、そこでやっと大きな声が出ました。私は、今日の英語を「Good」にしていたので、「Good ! Good ! Good !」とアクションも交えながら叫びました。これでどの程度の大きさが大きな声だということが分かったと思います。今日の活動で成果が出たことを褒めました。指導は、リーダーの判断力で成果がでるものです。少し、貢献できたかなと思えました。

隊集会は、月に1回です。計画書にしっかり教育的要素を組み込んで継続して進めることで、一年間で大きな成果をあげることができます。

プログラムを実行することだけで満足しないで、成果の目標を設定して、保護者とともに共有して、活動を運営することで教育的な成果を達成できます。これでいいと満足しないで、スカウトの成長を見据えて、計画内容の質の向上を図ることが大切です。

指導者の意識は、簡単に向上しないです。本人の社会的な経験を深めることや、向上する意識改革が必要です。静かに待つしかないでしょうか。ボーイスカウト活動の興隆は、「ちかいとおきて」の実践と計画的な教育指導の有無によってのみ達成できると思います。